

学年・教科・担当者	2年 数学 遠藤顕宏
-----------	------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	6	1章 式の計算 1 式の計算  2 文字式の利用	○同類項の意味を理解し、同類項をまとめる計算や多項式の加法、減法、多項式と数の乗法や除法の計算ができる。 ○数の性質を見だし、それが成り立つわけを、文字を使って説明することができる。 ○等式を変形してある文字について解くことができる。
	7	2章 連立方程式 1 連立方程式とその解き方  2 連立方程式の利用	○2元1次方程式とその解の意味、連立方程式とその解の意味を理解する。 ○加減法、代入法を理解し、それを用いて連立方程式を解くことができる。 ○具体的な問題を、連立方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解し、解決することができる。
2	8	4章 比例と反比例 1 関数  2 比例  3 反比例	○関数の意味を理解する。また、変域の意味と表し方を理解し、変域を不等号を使って表すことができる。 ○比例・反比例の意味を理解し、関係を式に表すことができる。 ○比例・反比例の表、式、グラフの関係を理解する。また比例・反比例のグラフから式を求めることができる。 ○比例・反比例のグラフがかけ、グラフの特徴を理解する。
	9	4 比例と反比例の利用  3章 1次関数 1 1次関数	○身の回りの問題を比例、反比例の関係を利用して解決することができる。  ○1次関数の意味を理解し、その関係を式に表すことができる。 ○1次関数のグラフをかくことができる。1次関数のグラフをもとに、1次関数を求めることができる。
	10	2 1次関数と方程式  3 1次関数の利用	○2元1次方程式のグラフが、式を変形してできる1次関数のグラフになっていることを理解する。 ○連立方程式の解を、2つの2元1次方程式のグラフをかくて求めたり、2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標を、連立方程式を解いて求めたりすることができる。 ○具体的な事象のなかの2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決することができる
	11	4章 平行と合同 1 説明のしくみ  2 平行線と角	○多角形の内角の和の求め方を、論理的に筋道を立てて説明することができる。 ○平行線と同位角、錯角の関係を基本性質として確認し、論理的に筋道を立てて説明することができる。

	1 2	3 合同な図形 5章 三角形と四角形 1 三角形	<p>○図形の合同の意味と合同な図形の性質を理解する。 ○三角形の合同を合同条件で判断することができる。 ○根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明することができる。</p> <p>○二等辺三角形、直角三角形など、図形の性質を、三角形の合同・直角三角形の合同の証明を使って、証明することができる。</p>
3	1	2 平行四辺形	<p>○平行四辺形の性質、平行四辺形になるための条件を証明し、理解することができる。 ○平行四辺形の証明から、ひし形・長方形・正方形の性質を理解することができる。 ○図形を等積変形することができる。</p>
	2	6章 確率 1 確率	<p>○確率の意味を理解し、多数回の実験の結果をもとにして、確率を求めることができる。 ○同様に確からしいことの意味を知り、場合の数をもとにして確率を求めることができる。</p>
	3	1 確率 2年生の復習	<p>○身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる</p> <p>○2年生の復習問題を解くことができる。</p>

評価について	
評価の観点	評価の方法
① 数学への関心・意欲・態度 (数学に関心をもち、意欲的に取り組むことができる)	授業中の観察、問題集や宿題プリントの達成状況・提出状況、レポートなど
② 数学的な見方や考え方 (数学的なアイデアや理論を大切にし、問題を解くことができる)	ノート、定期テスト、単元テスト など
③ 数学的な技能 (数学の約束に従って数学的な表現や処理ができる)	ノート、定期テスト、単元テスト など
④ 数量や図形などについての知識・理解 (数式や図形などの用語や性質が分かる)	ノート、定期テスト、単元テスト、レポート など